

編集後記

ある量販店の業績アップを特集する番組をたまたま見ました。過去、その量販店の売り上げは低迷していました。その当時は何十店とある各店舗の自主性にまかせ、商品の陳列から営業・販売をしていたそうです。この場合、各店舗の能力の差が売り上げの差として現れ、優秀な店舗は売り上げを伸ばす一方、その他の店舗の売り上げは伸びなやんでいました。そこで、各店舗を高いレベルで同等に教育する道ではなく、本部において商品の陳列方法から営業・販売のノウハウなど全てを一括管理しマニュアル化する道を選びました。その結果、管理された画一的な各店舗が平均的に高い売り上げを生み出し、企業全体として大幅に業績がアップしたそうです。

マニュアル化とは、それを作成した人たちの知識や経験をブラックボックス化することであると思います。そのマニュアルに従えば高い知識や経験をもつ人たちと同等の仕事をする事ができるという優れた方法です。ちょっとひ

ねくれた見方ですが、これは今では古いといわれる「背中を見て学ぶ」と同じなのではないでしょうか？師匠が行っていることを見て同じように実行し、師匠の高い技術を学ぶ。たまには間違いを正してくれることもあるかもしれません。まさに師匠自身がマニュアルです。文章で書いてある指示に従うだけのマニュアルと違う点は、自分で考え実行しながら技術を“学ぶ”わけですから全てが自分の知識や経験になり、さらに、その後発展させることが可能です。このように昔からマニュアルのような教育方法は存在していたわけで、何ら新しいことではないように思います。このように解釈すると温故知新ということわざも納得できます。

ここからは私の恥ずかしい話ですが、過去から学ぶことの大切さを最近になってようやく知り、小学校～大学で学んだ（はずの）歴史などの科目をなぜ学ぶ必要があったのかという謎が解けました。今はただ、もっと勉強しておけばよかったと後悔しています。（岩本晃史）

プラズマ・核融合学会役員

会 長	二宮 博正	副 会 長	斧 高一(推薦委員長：研究所助成)	小森 彰夫(推薦委員長：学会賞)
常務理事	室賀 健夫(総務委員長)			
理 事	安藤 晃(企画委員長)	石原 修(研究部会連絡委員長)	上杉 喜彦(支部・地区研究連絡会委員長)	
	甲斐 俊也(財務委員長)	草間 義紀	佐々木浩一	
	清水 克祐	白神 宏之	白谷 正治(年会運営委員長)	
	豊田 浩孝	永津 雅章(広報委員長)	福山 淳	
	堀池 寛	米田 仁紀(編集委員長)		
監 事	市村 真	中澤 一郎		

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：米田仁紀(電通大) 副委員長：豊田浩孝(名大)

エディタ：安藤 晃(東北大)、坂本瑞樹(筑波大)、中村祐司(京大)、長友英夫(阪大)、小西哲之(京大)、佐々木浩一(北大)

編集委員：石田 學(JAXA)、井 通暁(東大)、岩本晃史(核融合研)、内田儀一郎(九大)、浦野 創(原子力機構)、大場恭子(東工大)、落合謙太郎(原子力機構)、笠田竜太(京大)、梶村好宏(明石高専)、糟谷直宏(九大)、佐々木 明(原子力機構)、柴田裕実(阪大)、清水一男(静岡大)、城崎知至(広島大)、鈴木達也(長岡技科大)、高橋和生(京都工繊大)、徳沢季彦(核融合研)、成嶋吉朗(核融合研)、長谷川 純(東工大)、長谷川裕記(核融合研)、林 信哉(九大)、菱沼良光(核融合研)、古川 勝(鳥取大)、増井博一(九工大)、松浦寛人(大阪府立大)、籾内俊毅(阪大)、山田英明(産総研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第89巻第11号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

印刷 株式会社荒川印刷

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

2013年(平成25年)11月25日

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。